

令和元年度 第1回まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録

○ 日 時

令和元年6月25日（火）午後2時～3時30分

○ 会 場

諏訪市役所 3階 302会議室

○ 出席者

＜まち・ひと・しごと創生有識者会議委員＞

中嶋博美委員、岩波寿亮委員、白木智康委員、茅野昭一委員、小野沢弘夫委員、
櫻井哲朗委員、牛山久仁彦委員、前田剛彦委員、山内章弘委員、佐久秀幸委員、
有賀仙太郎委員、金子ゆかり委員

＜まち・ひと・しごと創生本部＞

木島企画部長

＜地方創生交付金事業担当課＞

金子商工課長兼産業連携推進室長、玉井工業振興係長、飯田産業連携推進係長、
細野観光課長、内田観光政策担当係長、伊藤駅前交流テラスすわっチャオ館長、
片桐企画運営係長

＜事務局＞

寺島企画政策課長、中澤企画政策係長、茅野企画政策係主任、西澤企画政策係主任

○ 欠席者

宮坂友子委員、宮坂哲也委員、山崎三千代委員

○ 会議概要

1 開会

（木島企画部長）

- ・令和元年度の第1回諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催する。
- ・今回、委員の改選にあたるため、会議開催に先立ち委員へ金子市長より委嘱状を交付させていただく。

2 委嘱状交付

※金子市長より委嘱状交付

（木島企画部長）

- ・新たにお引き受けいただいた委員もいらっしゃるのので、改めて委員の皆様にご自己紹介をお願いしたい。

※委員、事務局自己紹介

3 市長挨拶

(金子市長)

- ・令和元年という、新しい時代が始まった。委員の皆様には、新たに委嘱をお受けいただき誠にありがとうございます。
- ・諏訪市では少子化、人口減少を克服し、将来の諏訪市を維持していくために5年前の平成27年12月に総合戦略を策定した。継続的に様々な事業を展開しているが、本年度が総合戦略の最終年度となっている。総合戦略の特徴は、KPIを設定し外部評価をいただき、PDCAサイクルをまわしていくことにある。
- ・今回の会議では、平成30年度に地方創生推進交付金を活用し実施した4つの事業について、行政だけでなく外部の皆様にも客観的な意見をいただきながら効果検証を行う。
- ・委員の皆様には事前に評価をしていただいているが、本日は有識者会議としての評価を確定する。忌憚のない意見をお願いしたい。

4 会長副会長の選任

(木島企画部長)

- ・会長副会長の選任について事務局から説明をさせていただく。

(茅野企画政策課主任)

- ・有識者会議設置要綱に、有識者会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定めるとある。事務局に腹案があるが発表してもよろしいか。
※委員一同異議なし
- ・会長を金子諏訪市長、副会長を八十二銀行諏訪支店支店長の前田様をお願いしたいと考えている。

(木島企画部長)

- ・事務局より腹案を申し上げたが、ご了承いただけるか。
※委員一同拍手にて同意
- ・会長を金子諏訪市長、副会長を八十二銀行諏訪支店支店長の前田様とさせていただく。
- ・以降の進行は会長である金子市長にお願いします。

5 報告事項

(金子会長)

- ・報告事項に先立ち、定足数の確認について事務局よりお願いしたい。

(茅野企画政策係主任)

- ・有識者会議の委員数15名のうち、本日出席の委員は12名となり、半数以上の出席であることから定足数に達していることを報告する。

(1) 直近の人口動態について

(金子会長)

- ・「(1) 直近の人口動態について」、事務局より説明をお願いしたい。

(茅野企画政策係主任)

※資料No.1 に基づき説明

(金子会長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

(C委員)

- ・出生率の低下について、事務局としてはどのような分析をしているのか。

(茅野企画政策係主任)

- ・諏訪市の場合、人口の規模が小さいこともあり単年だけでの判断は難しいが、母の年齢 5 歳階級別出生児数を見ていただくと出生児数が大きく減少している。大きな要因の一つではある。出生数に関しては景気等にも影響はされているが、傾向やはっきりとした要因は 2～3年スパンで見なくてはいけないかと考えている。

6 協議事項

(1) 地方創生交付金事業の効果検証の概要について

(金子会長)

- ・協議事項に移りたい。協議事項「(1) 地方創生交付金事業の効果検証の概要について」、事務局より説明をお願いしたい。

(中澤企画政策係長)

※資料No.2 に基づき説明

【参 考】

<事業効果>

- ①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった ④地方創生に対して効果がなかった

<今後の方針>

- ①追加等更に発展させる ②事業内容の見直し（改善）
- ③事業の継続 ④事業の中止 ⑤予定通り事業を終了

(2) 地方創生交付金事業の効果検証について

(金子会長)

- ・協議事項「(2) 地方創生交付金事業の効果検証について」を協議する。
- ・委員の皆様には、事前に担当課による事業効果検証結果をお送りし、効果検証を行っていただいた。本日、追加資料として、各委員による効果検証の取りまとめ結果、事前質問・回答一覧を配布している。
- ・前田委員については、先週の6月21日付け八十二銀行様の異動に伴い、前任の山科様の後任として諏訪支店長に着任された。委員の引継ぎはしていただいたが、今回の効果検証については、前任の山科様に実施していただいている。

○事業No.1「諏訪圏 6 市町村による SUWA ブランド創造事業」

(金子会長)

- ・事業No.1、商工課の「諏訪圏 6 市町村による SUWA ブランド創造事業」について、効果検証を行いたい。担当課より「事業概要」、「事業効果」及び「今後の方向性」について説明したい。

(金子商工課長)

(玉井工業振興係長)

※資料No.3、追加資料No.2 に基づき説明

(金子会長)

- ・質問、意見があれば伺いたい。
- ・事業No.1「諏訪圏 6 市町村による SUWA ブランド創造事業」について、「今後の方向性」は「③事業の継続」が 12 名で最も多くなっているが、事業の効果については「③地方創生に効果があった」が 8 名、「②地方創生に相当程度効果があった」が 6 名と意見が分かれている。効果検証に対する意見があれば合わせて伺いたい。

(I 委員)

- ・KPI の達成率だけ見ると 7～8 割達成している。そうすると効果検証基準では「②地方創生に相当程度効果があった」という判断に当てはまる。そんな中で「③地方創生に効果があった」とするのであれば、その理由を明確にしたほうがよい。

(金子商工課長)

- ・当事業の KPI 達成率は 7 割程度であるが、諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の KPI は達成している。そういった理由からも担当課では「②地方創生に相当程度効果があった」と判断している。

(H 委員)

- ・総合戦略の KPI で達成しているとはどういうことか

(金子商工課長)

- ・この事業は諏訪圏 6 市町村で事業を立ち上げている。諏訪市には独自の総合戦略があり、KPI を設定している。諏訪市に於いては創生総合戦略の KPI について H28 年度は達成している。

(H 委員)

- ・H28 年度は達成したが 30 年度は達成しなかったということか？

(金子商工課長)

- ・KPI の数値について、製造品出荷額等は 2 年遅れで明確になるので、現時点で判明しているものは H28 年度のものとなる。

(H 委員)

- ・7 割達成出来たと見るか、7 割しか達成していないと見るかで評価は変わってくる。基準感があれば教えてほしい。

(木島企画部長)

- ・一定のルールでやっている。この場合、数値だけ見ると担当課の判断どおりとなる。ただ、事業の中身を見ていただいて、相当程度というにはもの足りないという印象を多くの委員

の方が持っている」と事務局側では理解している。委員の方でそのような意見があれば是非いただきたい。

(F委員)

- ・迷ったが、ものづくりはこの地域にとって非常に大切だと考えている。もっと事業を進めていかなければいけないという期待感からあえて評価を抑えて③とした。

(E委員)

- ・7割達成しているが、全体的にいまひとつはっきりしない結果となっていることと、期待を込めて③とした。

(金子会長)

- ・新たに意見をいただいたので、委員の方の挙手で決定したい。
- ※「②地方創生に相当程度効果があった」7名、
「③地方創生に効果があった」4名
- ・有識者会議として、効果検証結果を以下のとおりとしたいがよろしいか。

事業No.1「諏訪圏6市町村によるSUWAブランド創造事業」

事業効果 : ②地方創生に相当程度効果があった
今後の方針 : ③事業の継続

⇒異議なし

(金子会長)

- ・ありがとうございました。

○事業No.2「SUWAクリエイティブシティ化戦略事業」

(金子会長)

- ・事業No.2、産業連携推進室の「SUWAクリエイティブシティ化戦略事業」について、効果検証を行いたい。まず、担当課より「事業概要」、「事業効果」及び「今後の方向性」について説明したい。

(金子産業連携推進室長)

(飯田産業連携推進係長)

※資料No.3、追加資料No.2に基づき説明

(金子会長)

- ・質問、意見があれば伺いたい。

(F委員)

- ・せっかく良いものを作っているのもっと発信をしていくのが良いと思う。長野県で設置した営業本部も活用して、更なる販路の拡大が出来ないか検討していただきたい。

(M委員)

- ・確かに多くの商品が作られ、中小企業のやる気を引き出しているのは認める。ただ、売るという面ではもっと多くの販路を確保する必要がある。また、販路を細かく分けた方が、効果が出るのではないかと思う。そういう意味で今後の方針を「②事業の見直し(改善)」とした。

(飯田産業連携推進係長)

- ・販路については、リニューアルした本店を活用した販路拡大をしていきたい。商品を体験いただき、地元の方に知ってもらい、お土産として持って行ってもらうことを考えている。

(金子会長)

- ・事業No.2「SUWA クリエイティブシティ化戦略事業」について、事業効果は「②地方創生に相当程度効果があった」、今後の方向性は「③事業の継続」と有識者の意見も担当課と同意見が多くなっている。

(M委員)

- ・評価としてはいいと思う。お土産に持って行ってもらうのは大切だと思うが、もっと売れる販路はいくつもあると思うので検討いただきたい。

(H委員)

- ・今後の方針として、「②事業内容の見直し（改善）」というのは良くない評価となる。方針としては「③事業の継続」とするが、有識者会議の意見として検討いただきたい内容を出せばよいのではないか。

(D委員)

- ・既に新規事業も開始されているので、「③事業の継続」でよいと思う。

(金子会長)

- ・それでは有識者会議として、効果検証結果を以下のとおりとしたいがよろしいか。

事業No.2「SUWA クリエイティブシティ化戦略事業」

事業効果 : ②地方創生に相当程度効果があった

今後の方針 : ③事業の継続

⇒異議なし

(金子会長)

- ・ありがとうございました。

○事業No.3「『諏訪の国』ブランド展開と観光推進組織基盤創生事業」

(金子会長)

- ・事業No.3、観光課の「『諏訪の国』ブランド展開と観光推進組織基盤創生事業」について、効果検証を行いたい。まず、担当課より「事業概要」、「事業効果」及び「今後の方向性」について説明したい。

(細野観光課長)

※資料No.3、追加資料No.2に基づき説明

(金子会長)

- ・質問、意見があれば伺いたい。委員の評価について、事業効果は「②地方創生に相当程度効果があった」と「③地方創生に効果があった」で分かれている。

(H委員)

- ・KPIの達成度は高いと思うが、担当課として事業効果をなぜ③としたのか。

(細野観光課長)

- ・当エリアでは、観光振興に取り組み、地域づくりをしていくことは重要な課題であると認識している。そんな中で、KPI を設定して事業実施しているが目標値には達していないことから、担当課としては厳しく評価をし、更なる発展を目指さなくてはいけないという思いから③としている。

(A 委員)

- ・事業効果を③にしていたのだが、直接説明を聞いて②で良いのではないかと感じた。事業に対し努力をした結果が見えてきていると感じたので②に変更する。

(F 委員)

- ・観光はものづくりと同じくこの地域にとって重要な産業。この地域に宿泊していただき長期滞在につなげることが重要ではないかと感じている。宿泊者数も増えているが、まだまだ日帰りが多い。そういう意味でこの地域に宿泊してもらうための事業を進めていく必要はあるのではないかと考えたことから、評価は厳しめの③とした。

(N 委員)

- ・今回初参加ということもあり、基本的に担当課の意見を参考に評価をした。ただ、事業No. 1.2についてはものづくりが中心であり実施内容を絞りやすい内容だと感じたが、この事業については観光分野であり6市町村の広いエリアで実施している。八ヶ岳のとうもろこしとなると諏訪から場所が離れてしまうイメージがある。そのようなことから自分の中では内容がぼやけてしまっている事業である。ただ、諏訪の国というのは出張に行ったりすると見かける機会が多くなっており効果は出ていると感じている。

(金子会長)

- ・地域外から来る方、遠くから来る方にとっては、個別の市町村にという認識はほとんどなく、諏訪エリアに焦点をあてて来ている。海外から来た方は、京都、大阪、神戸エリアを見たら東京エリアへというような移動をする。インバウンド視点からは、広い圏域として実施することが大切なので6市町村で実施している。市町村ごとに総合戦略をもっており、評価自体は各自治体で行っている。

(細野観光課長)

- ・八ヶ岳の生とうもろこしは、本事業の内容を理解していただいた若手生産者が栽培しているものであり、本エリアに訪問いただくきっかけになることを狙っている。エリアで一体となり取り組んでいく必要があると感じている。

(金子会長)

- ・評価を確定していきたい。今後の方針は全員「③事業の継続」となっているが、事業効果については、意見が分かれており、1名意見の変更があったため、「②地方創生に相当程度効果があった」が8人、「③地方創生に効果があった」が6名となっている。委員の挙手により事業効果を決めたい。

※「②地方創生に相当程度効果があった」8名

「③地方創生に効果があった」6名

- ・有識者会議として、効果検証結果を以下のとおりとしたいがよろしいか。

事業No.3 「『諏訪の国』ブランド展開と観光推進組織基盤創生事業」

事業効果 : ②地方創生に相当程度効果があった
今後の方針 : ③事業の継続

⇒異議なし

(金子会長)

- ・ありがとうございました。

○事業No.4 「まちの魅力と地域の絆の再発見！市民待望の駅前活き活きプロジェクト」

(金子会長)

- ・事業No.4、駅前交流テラスすわっチャオの「まちの魅力と地域の絆の再発見！市民待望の駅前活き活きプロジェクト」について、効果検証を行いたい。まず、担当課より「事業概要」、「事業効果」及び「今後の方向性」について説明したい。

(伊藤駅前交流テラスすわっチャオ館長)

※資料No.3、追加資料No.2に基づき説明

(金子会長)

- ・質問、意見があれば伺いたい。

(C委員)

- ・駐車場の問題等出てくるとは思っているが、ここで建物が完成したということの意義は大変大きいことから、事業効果を②とさせていただいた。ただ、オープンして間もないことから、評価は難しいと思う。

(I委員)

- ・駅前の開発は長野県内多くの市町村が苦しんでいる。そんな中で、ここまでこぎ着けたことは評価に値するかと思う。ただ、オープンしてこれからは大事だとは感じている。
- ・有識者会議として、効果検証結果を以下のとおりとしたいがよろしいか。

事業No.4 「まちの魅力と地域の絆の再発見！市民待望の駅前活き活きプロジェクト」

事業効果 : ③地方創生に効果があった
今後の方針 : ③事業の継続

⇒異議なし

(金子会長)

- ・ありがとうございました。
- ・慎重なご審議、ご協力をありがとうございました。

6 その他

(木島企画部長)

- ・長時間にわたり慎重なご審議をありがとうございました。今後も継続して事業実施をいたしますので、引続きご意見をいただきたい。
- ・その他連絡事項について、事務局より報告したい。

(茅野企画政策係主任)

※今年度後半に予定している第2回及び第3回有識者会議日程等について事務連絡

7 閉会

(前田副会長)

- ・長時間にわたり慎重議論いただきありがとうございます。
- ・他の地域に赴任していた時から、諏訪には技術力があり、観光資源もある羨ましい魅力ある地域と認識していた。
- ・以前本部の法人部にいた関係で、様々な審議会に出席させていただいたが、県外から来た有識者の方々は、「長野県の方は足下に魅力的な物があるのに気付いていない。」と声をそろえて言っていた。
- ・そういった中で、足下にある魅力をしっかりともう一度見直しをして、生かしていくという取組は素晴らしいものだと感じた。微力ながら力添えしたい。また、事業を継続、発展させていってほしい。

(閉会 午後3時40分)